

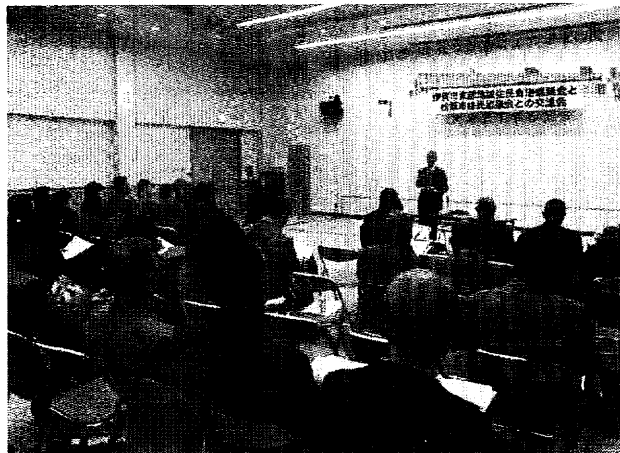


## まちづくりの活動は 「笑顔で あいさつ」から始めよう

2月3日、中川コミュニティセンターで伊賀市東部と松阪市内の6つのまちづくり協議会の交流会が開かれ、伊賀市から21名、松阪市から約60名が参加しました。

全体会議で各協議会の活動が報告され、分科会では、安全安心のまちづくりのため防災マップ作成や地域で工夫したパトロールの実例、年寄りが元気に暮らすにはどうすればよいか、全員参加のまちづくり運動はどのようにすればよいかなど、活動の現状や課題が話し合われました。

どの協議会も「安全で安心して暮らせるまちづくり」が共通した目的で、地域活動の成功には「まず近所の人と笑顔で挨拶から始め、お互いを知り合うこと。まちづくりのキーワードは『家庭』である」とまとめ交流会を閉会しました。(各住民協議会の概要は裏面に掲載しました)



### 中川幼稚園で託児支援！

協議会の健康福祉部会は、一月十七日午後行われた中川幼稚園の今春入園予定児一日入園日に、保護者説明会の間子どもを預かる「託児サービス」に協力しました。

初めて保護者から離れ、新しい環境で遊ぶ子供たちは種々百態で保育の難しさを体験しました。

幼稚園の先生方、毎日大変  
Thank you.

(健康福祉部会より)

### お伊勢さんまで歩いたよ

2月17日、育成会・まちづくり協議会主催で「中川小学校卒業記念お伊勢さんまで歩こう大会」が行われました。

朝6時50分、気温0度、凍りつくような空気の中、参加者は中川小学校を出発し一路伊勢神宮(外宮)に向かいました。

6年の生徒(68名)と、保護者、育成会、まちづくり協議会役員



・理事、小学校、嬉野教育事務所等関係者に一般参加を含め総勢171名が参加し、殆ど全員が寒さに負けずお伊勢さんまでの32.6kmを完歩(走)しました。

「防犯はご近所さんと共同で」 皆で地域の安全守りましょう

嬉野中川まちづくり協議会

# 伊賀市東部と松阪市7住民協議会の概要

|              |   | 地域の概要  | 設立年月日  | 部 会  | 協 議 会 の 特 徴   |
|--------------|---|--|--|--|---|
| 伊賀市          | 伊賀市東部地域住民協議会  | 15町・16自治会で構成<br>世帯数4,500世帯<br>人口約12,000人<br>70歳以上1730人<br>14歳以下1700人 | 平成17年<br>5月14日   | (7部会)<br>総務広報部会、健康福祉部会<br>環境保全部会、教育文化スポーツ部会、防災防犯交通安全部会、人権啓発部会、産業振興部会     | 伊賀市自治基本条例に基づき住民自治協議会の設置と地域まちづくり計画の中で市内に37協議会ができる。市からの地域交付金は総額4,100万円を均等割・人口割りで交付。東部地域住民協議会はすば抜けて大きく、2小学校、2中学校の校区。次に大きい協議会でも5,000人弱、最小は488人。 |
|              | 中川まちづくり協議会  | 7町・15自治会で構成<br>世帯数3,442世帯<br>人口8,740人<br>70歳以上1,160人<br>小学生466人      | 平成18年<br>7月26日   | (7部会)<br>自治振興総務部会、健康福祉部会、環境美化部会、防犯防災部会、教育文化部会、体育部会、広報部会                  | 代議員・役員が自治会だけでなく各種団体・組織の代表、一般市民と幅広い層から選出され、協議会の運営に参加している。  |
| 松阪市          | 朝見まちづくり協議会  | 10町・10自治会で構成<br>世帯数592世帯<br>人口2,234人<br>70歳以上420人<br>小学生116人         | 平成18年<br>7月26日   | (5部会)<br>防災部会、防犯部会、福祉部会、青少年育成部会、地域環境部会、専門部会として公民館・連自治会・寿会(老人会)幼・小・PTAがある | よりよい地域づくりを自ら考え、自ら行動を起こす活動をしている。諮問機関として「企画推進委員会」を設け、将来のあるべき姿を追求、提言を行っている。  |
|              | 掃水まちづくり協議会  | 9町9自治会で構成<br>世帯数1,465世帯<br>人口4,199人<br>70歳以上735人<br>小学生227人          | 平成18年<br>10月8日   | (7部会)<br>地域振興部、公民館活動部、老人会活動部、保険福祉部、安全防災部、産業振興部、青少年育成・環境部                 | 「みんなが元気で仲良く楽しいまちづくり」をテーマに地域住民の結束に重点を置き行事に取り組んでいる。青色回転灯車による地域自主防犯パトロールを実施している。   |
|              | 漕代まちづくり協議会  | 7町7自治会で構成<br>世帯数590世帯<br>人口2,243人<br>65歳以上636人<br>小学生110人            | 平成19年<br>5月30日   | (5部会)<br>地域統括部会、福祉部会、いきがけ育成部会健康スポーツ部会、緑化環境部会                             | 基本理念に、昔からの「水豊かな田園で美味しい米づくりが心を豊かに」を基礎に、①安全で安心できる町、②便利で暮らしやすい町、③農地や水を守り環境の保全と向上を図る町・・・の行動をつづけ次世代につないでいく。                                      |
|              | 森を考える会  | 世帯数309世帯<br>人口786人<br>70歳以上268人<br>小学生26人                            | 平成19年<br>6月19日   | (5部会)<br>研究部会、文化部会、広報部会、運動部会、福祉部会  | 「森を考える会」は昭和60年に発足。夏祭りや、春祭りをい行い住みよい地域社会作りを推進。平成17年からは、蓮ダムから出る流木を利用し木炭を焼き「流木の炭」として販売。地域の活性化を目指している。   |
|              | 波瀬むらづくり協議会  | 5町5自治会で構成<br>世帯数327世帯<br>人口773人<br>65歳以上約400人                        | 平成19年<br>7月4日  | (3部会)<br>地域振興部、福祉教育部、産業振興部   | 波瀬むらづくり協議会は昭和56年に波瀬地域開発推進協議会から始まり地域づくりに取り組んできた。本年7月組織・規約を充実し「住民協議会」を設立、高齢化の進んだ地域なので行事を絞り厳選し全員で取り組むこととしている。                                  |
| 宮前地区まちづくり協議会 | 5町9自治会で構成<br>世帯数739世帯<br>人口2,077人<br>70歳以上563人<br>小学生117人 | 平成19年<br>9月25日   | (5部会)<br>自治部会、福祉部会、公民館部会、青少年育成部会、健康部会、その他課題があれば専門部会を設置する | 自営業者が多く、若い人が地域おこしや都市交流のためのイベント等を積極的に行っている。                               |   |